

市民の土木賞 市民と歩む土木の業績部門

特別賞

「芥川 ひとと魚にやさしい川づくり」(愛称:芥川倶楽部)

芥川は、淀川に右岸から注ぎ込む一級河川(流域面積:50.1km²・流路延長:約24km)である。

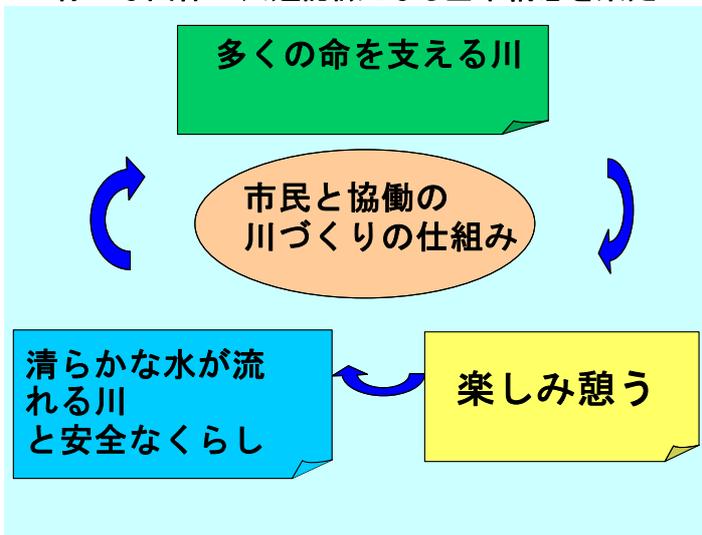
昭和30年代後半からの高度経済成長に伴う宅地開発に下水道整備が追いつかず、河川環境が大変悪化した。

しかし、近年、淀川では、下水道整備による水質改善や淀川大堰の改築により、多くのアユが遡上するようになった。

芥川でも芥川大橋上流の落差工下までは、アユが確認されるようになったことから、都市部における自然再生として、大阪湾～淀川～芥川に遡上する「鮎」をシンボルとした豊かな生態系の回復を目指した「芥川 ひとと魚にやさしい川づくり」(愛称:芥川倶楽部)の活動を開始した。

現在では、市民参加型による川づくりを開催する等、芥川を楽しんでくれる市民が増えつつある。

様々な団体の共通認識となる基本構想を策定



【実験魚みち設置】



土のう約2500袋

【魚みち部会開催】



【半恒久魚みち設置】



【念願のアユ遡上(H18.6.16)】



(業績のポイント)

- ①アユ遡上をシンボルとした共通認識の形成
- ②多くの人と活動実施
- ③市民・学識者・行政と一緒に検討
- ④検討を生かして再び活動
- ⑤活動をPRし協力者を増やす

【芥川クリーンアップ作戦】



【芥川創生千人なべを主催】



位置図

応募者名	芥川倶楽部
事業実施場所	大阪府高槻市
期間	平成16年5月～現在継続中